

宇津野 和子 (かずこ) さん

●名古屋支部 宇津野興業株式会社

代表取締役 宇津野 清彦氏夫人



大所帯を切り盛りした経験も、“大変だったけど楽しかった。”と、にこやかにおっしゃる和子夫人。その優しさで、結婚当初からご主人をサポートしていらしたようです。今も宇津野興業株式会社の取締役としてベストパートナーをつとめる和子夫人に、新婚時代のお話、そしてご主人のことを伺いました。

【生け花が趣味です】

趣味は生け花を習っている程度。あと、仲の良いお友達4人と、年に2回ほど定期的にお食事会を楽しんでいます。生け花は遊び感覚で楽しんでいますから、なかなか腕は上がりませんが、嵯峨御流を7~8年習っています。おけいこで生けたお花を、家の中に飾るのが楽しみ。お花は、どれもそれなりに美しさがありますけれど、私はボタンやカサブランカのような、大ぶりで派手なお花が好きです。

仕事は、結婚した時から自宅が本社になっているので、手伝っています。夫は本社事務員なんて

言ってくれますが、担当は銀行関係のため経理係とでもいったところでしょうか。車の免許を取得したのは、子供が大きくなってからのことなので、それまでは自転車で走り回っていました。若かった証拠でしょうね。

【大家族を楽しみました】

今は、長男が結婚してニューヨークに住んでいますし、次男は東京に住んでいて、この家には夫と二人きりですから、すっかりのんびりしてしまっていて、太ってしまいました。でも、結婚した当時は、南区の工場に住んでいて、住み込み社員の食事の世話もして大変でした。長男が生まれてお宮参りを終えて、その足で自宅に来て同居しました。当時は、両親だけではなく、大おばあちゃんも小姑さんもいて、日本的な大家族でした。その上、両親は面倒見がよくて、ちょっとしたご縁で知り合った、よそのお宅のお嬢さんを預かっていた時期もあります。そんな大家族でも、食事の切り盛りは主婦として一人でしなければならなくて、その時には大変だと思ふことがたくさんありました。今思うと、本当に良い勉強をさせてもらいました。それにお祖母ちゃんやお祖父ちゃんには、助けもらったこともいっぱいあり、楽しいことも多くありました。もちろん夫も、手は出さなくても、それなりに心遣いしてくれましたし。そして何よ



栃東閣と一緒に

り嬉しいのは、そんな家庭に育ったせいか、息子たちも、人の集まるにぎやかなことが好きなこと。家風というほどおおげさなものではなくても、そういう家庭の雰囲気を受け継いでくれているのは、嬉しいと思います。

【夫とのニューヨーク行きが楽しみ】

家にいることが好きなので、これからは家にいて何か手先でできるような趣味を活かしてみたいと思っています。あと、飛行機が嫌いな夫に少し我慢してもらって、ニューヨークにいる息子夫婦を訪ねるのが楽しみ。私たち夫婦が、息子夫婦の新居を一度も訪ねていないので、お嫁さんのご両親が遠慮されますので、やっと夫もニューヨークへ行くことを了承してくれるようです。

仕事一本で、堅すぎるかもしれないほど生真面目な夫ですから、要望は何もありません。しいていうなら健康にだけは十分に留意してほしいですね。今、世間ではぶっそうな事件が話題になっていますけれど、夫には健康で長生きしてもらいたいと思っています。



《ご主人から奥様に一言》

親父が創業した事業を、大学を卒業してから引き継ぎ、新婚旅行先から電話で仕事の手配について指示をしていたほど、結婚当初から仕事どっぷりで、家内も同様、手伝ってもらっています。また家庭においても、彼女の実家とは雰囲気の違う、古い伝統的な大家族の中に入って、よくやってくれました。まだまだ人生なかばですが、ありがとう、ご苦労さん、これからもよろしく!



長唄と日本舞踊と京懐石を楽しむ会にて